

# NAGOYA GAKUIN GLEE CLUB

第 5 回 リ サ イ タ ル



1970.7.22

中 電 ホ ー ル

## 定期演奏会によせて

名古屋学院高校長 大西 寛

満州の戦争が次第に拡大されていく頃、私は中学の新入生でした。小学校で「忠臣愛国」ばかり教えられて来て、初めての中学校での修身の時間に、先生がのっけに「ハア一島で育てば——」と歌いだしたので、あっけにとられました。「娘十六恋心——」と大きな体で、近眼の目を細めて歌っている先生がとても印象的でした。

やがて、この歌は歌詞が悪いから変えろということになり、そして歌ってにならない歌だということになりました。ようやく、その時先生が教えようとされたことが判ったような気がしました。

☆ ☆ ☆

近ごろはテレビ・FM・ステレオなどの普及で高校生諸君の間にも音楽愛好家がずい分多いようですが、自ら作詩・作曲をし、歌うということはまだまだのようです。

今夜は、学院の生徒諸君が作詞・作曲した作品も発表されると聞いています。なにをどのように訴えるかを楽しみにしています。

メンバーは良い演奏をしたいとがんばって練習してきたと思いますが、あるいは期待ほどではないかも知れません。若い生徒たちの力一ぱいの演奏に、お聞き下さる皆さまのご批判とご激励をいただければ幸いです。

名古屋学院宗教部長 柴山 満

みんなで歌おう 生活のあらゆることを

たとえ下手でもまずくっても

心から楽しもう

コンクールもいい のど自慢もいい

だが本当に我々の生活のなかから出てこないものは年とともに消えていく。時には懐しの「何々」としては残っても。

最近の若い人達から歌はとり除けないだろう、やっと生活の中に入って来たような気がする。私達の生活の中に歌が、音楽が定着した時、それは技術だけでなく、形骸でもない本当の音楽が生れてくるだろう。

生徒諸君の作っただけが歌われるという。未熟で幼稚かも知れない。だがみんなが自分の中から生み出す時こそ、本当の意味で音楽が生れるのではないだろうか。

歌がみんなのものになるように、期待と激励を！

(戦後、グリークラブ再建の時、顧問として柴山先生にお世話いただきました。)

## 定期演奏会によせて

愛知県合唱連盟理事長

藤井 知 昭

この演奏会を非常に期待している。それは、君たち自身で詩をつくり、君たちの手でつくった曲への期待である。受験体制の中で若もののエネルギーを見失ってゆく高校生たちの中で、主体的に創造してゆく意欲をもった君たちに心から拍手を送りたい。一般に高校の合唱団を眺めてみても、大学や一般の合唱団をマネたり、先生から与えられた曲にしがみついたりしている姿を多く見るにつけ、君たちの意欲は大へん素晴らしい。

このような試みを生かし、指導してきた佐々木先生の存在は誠に大きい。君たちにとっても先生は大きい存在だろうが、その影になったり、頭をたれてはいけない。先生にぶつかり、のりこえてゆかなければならない。その基本は、さらに主体的に、自分たちで音楽を創りあげてゆく意志であり、さらにすばらしいサークルを築きあげてゆくことではないだろうか。佐々木先生はのりこえ甲斐のあり、そしてなかなかのりこえられない人である。だから、一層君たちの力を強くして貰いたい。先生と火花を散らす関係まで君たちが大きくなる時、君たちのクラブは、全国一のすばらしい合唱団になるだろう。

今夜の演奏会はその出発であり、君たち自身の音楽が展開されるこの演奏会に、ほんとうにおめでとうといいたい。

グリークラブOB

長瀬 増 重

第5回定期演奏会おめでとう。豊嶋、三浦、林、各先輩の後を継いで、それまでのジョイントコンサートを改め、第1回と銘打ってリサイタルを開いたのが41年2月12日だったと記憶しています。あれからもう4年もたったのかと、感無量です。

中三で入部して以来、笑いとハーモニーのグリーでした。でも結構悪い奴がいて、当時の柴山校長を初め、滝川先生や佐々木先生に、よくもまああれだけと感心する程、ありとあらゆる迷惑をかけたものでした。ですが今でも根だけは割とよい者ばかりだったと思っています。

聞くところによると、名高グリーの歴史は津川圭一先生まで溯るそうですが、その伝統の上ますます発展して欲しいと願っております。本日まで来場の方々、お世話になった各校の先生方や合唱部の方々に感謝すると共に、これからも今まで以上に名古屋学院グリークラブを暖く見守って頂きたいと願っております。

(長瀬先輩は第1回発表会当時の部長です。)

# I オルフェオンのミサより

Kyrie	A. Adam 作曲
Gloria	A. Adam 作曲
Agnus Dei	F. Halévy 作曲

## なぜミサ曲を歌うのか

合唱という形態で歌う題材は、独唱とは違って、個人的な感情などはふさわしくないようです。恋などは、やはり一番合唱に不向きなものかも知れません。教会が人々の生活に大きな位置を占めていた時代には、ミサで唱える内容は、普遍的なものであったのです。だからこそ、それが合唱で歌われるようになったのでしょう。

現在でも、キリスト教信仰の有無にかかわらず、ミサの言葉は普遍的な意味をもっています。地には平和が善意の人々にあるようにとの祈りは、その中心です。だから僕たちも、歴代の信徒たちと共に、*Dona nobis pacem* 平和を与え給えと歌うのです。

(佐々木伸尚)

## オルフェオン運動について

18世紀イギリスで、グリーと呼ばれる男声合唱が流行し、これを歌うクラブが各地で出来ました。これがグリークラブの名の起りですから、本来は男声合唱団をさすものようです。この影響でドイツに、リーダーターフェル・リーダークラントと呼ばれる大合唱運動が起ります。やゝ遅れて、フランスではG・E・ウィリアムという人が学校教育の一環として、合唱運動を起し、後にこれが社会人のアマチュア男声合唱運動に発展しました。

教会が音楽の中心だった時代が終ると、合唱はこのようなアマチュアの合唱運動に支えられてきたと言ってよいでしょう。このフランスの合唱運動が、オルフェオン運動で、1840年には初めてのコンクールが開かれ、大会なども開かれるようになって、多大の影響を及ぼしました。グノーやサンサーンスなどもこのオルフェオンのために作品を書きました。

しかし、このオルフェオン運動も、ドイツの合唱運動も、今では下火になってしまいました。それをまねて作られた日本の合唱連盟も、今、何か重大な曲り角に来ているように思えます。えらそうなことを言うようですが、合唱だけに閉じこもってしまい、他の音楽の分野から孤立してしまっ、閉鎖的になっていたのが、その原因の一つではないでしょうか。合唱の後進国日本は、これら諸外国の合唱運動に、その成果は勿論のこと、欠点をも学ばなければならないと思います。今日歌うミサ曲は、やはりオルフェオンの大会のために三人の作曲家が協力して作曲したものです。その中から、Gloriaを中心に三曲、部分的に改訂して歌います。

(渡辺利雄・佐々木伸尚)

## II 黒人霊歌

Rock a my soul  
Wade in de water  
Were you there?  
This ol' hammer  
Ride the chariot

独唱 玉井信之  
竹内正幸  
岩佐敏弘

### 僕たちと黒人霊歌

黒人がアメリカで酷使されていた生活から生れた歌。どん底の生活から逃げ出そうと、明日への希望をつなごうと歌った歌。それが今の社会に合うのでしょうか。僕たちが歌って意味があるのでしょうか。

でも考えて下さい。もしかすると僕たちは、その頃の黒人と同じように虐げられているのじゃないだろうか。僕たちの生活は知らないうちにがっかりと固められてしまい、同じ毎日のくり返えしになっているのじゃないだろうか。

何もしないで流されてゆくような人間にはなりたくない。だから黒人霊歌は僕たち自身の歌なのです。

(中村勝利)

## 虐たげられ酷使された ドレイたちのうた

アメリカ南部の綿花地帯へアフリカから運ばれて来た黒人たちを待っていたものは苛酷な労働と家畜よりも劣悪な生活環境だけでした。

白人たちは多少責任も感じ、信仰心もあって、黒人にキリスト教と讃美歌を教えました。彼等と同じように、迫害の中で生涯を終ったイエスは黒人たちの共感を呼び、彼らに一すじの光明を与えました。そして彼らの生来のリズム感と讃美歌を通じて得た音感、新しい音楽に結合します。それが、ジャズと黒人霊歌なのです。

黒人霊歌の題材は大別して二つあります。それは聖書中の物語と、現実の彼らの生活の苦しさから早く逃げだしたいと歌うものです。しかしそのどちらの歌でも、表面的な意味の裏に、もう一つの意味が隠されているのです。この二重の意味が黒人霊歌の本質です。

例えば、Wade in de Waterの題材は、モーゼが紅海の水を分けて進む話ですが、同時にミシシッピ川をわたって、自由の地、奴隷制のない北部へ逃げる希望を歌い、又、着飾った白人たちは水に溺れるだろうと神の審きを祈るのです。

Ride the chariotで歌われる馬車も、死んで天国に行く時の馬車であると同時に、北部行きの馬車なのです。イエスが十字架につけられた時、あなたはそこにいたのかと歌う Were you there? は、白人たちに対して、その時どんな立場にいたのかと鋭く告発しているのです。

これがThis ol' hammerになると、白人の社会体制に対する告発になっています。トンネル掘りの名人 John Henry は新しく導入された削岩機と競争して、疲労のため死にます。

Johnは死んでも、俺は殺されはしないと、神に託して希望を歌いますが、今なお、その希望は実現されていません。

(金沢勇治・佐々木伸尚)

### Ⅲ 友情出演

#### ザ金太郎ズ

あなたの信じるものは 神野孝司 詞曲  
俺の欲しいものは 神野孝司 詞曲  
ころしやのブルース 西尾志真子 詞  
中川五郎 曲

12弦ギター 神野孝司  
リードギター 加藤裕之  
セカンドギター 加藤裕  
ヴォーカル 加藤真澄  
コントラバス 金沢勇治

#### ザ金太郎ズ公演記録

'69 6月15日 岡林信康フォークコンサート  
(岐阜)  
6月29日 サンデーフォーク  
8月17日 岐阜フォークアマチュア大会  
9月6日 東海ラジオ出演 12日放送  
10月10日 名高愛校祭  
11月2日 高田渡フォークコンサート (岐阜)  
12月<sup>19</sup>/<sub>26</sub>日 ビデオジョッキーCBCテレビ  
'70 1月15日 桑名市成人式 (桑名)  
2月7日 私生連FFの集い フォーク  
コンサート (淑徳学園)  
2月14日 名高おんまつり (名高)  
3月26日 リサイタル (中区役所)  
4月8日 ヤング720 CBCテレビ

#### フォークグループ ザ金太郎ズ とそのメンバー

今から一年ほど前、神野と加藤裕が何かやろうとグループをつくり、神野が12弦ギター、裕がバンジョーを弾いていました。たまたま練習を見ていた、金沢と加藤裕之が加わり、リードギターとコンバスで、何となく形が出来上がりました。

ひょんな事から、東海ラジオに出ることになり練習をしていたところ、神野が急にガラガラ声になったので、ヴォーカルに加藤真澄が加わり、今の形になりました。今年の3月26日に中区役所でリサイタルを開きましたが、4月28日にヤング720という、大変非教育的なテレビ番組に出演したため、文部省より解散命令が出まして(?!?)一応解散しました。

前からの約束で、グリーの発表会に出ましたがこれで本当にお別れです。

加藤裕 ブルースが好きです。目立たない存在ですが、縁の下の力持ちで、貴重な存在です。

加藤裕之 大変な意地っ張りですが、内心は弱虫です。立派なギタリストになるのが夢です。

加藤真澄 上の二人と何の関係もありません。三人とも赤の他人です。とてもよい声ですが、力強さが足りないのが欠点でしょうか。

金沢勇治 とても器用で、色々な楽器を弾きこなします。出来れば、ずっと歌いつづけたいそうです。

神野孝司 今年の8月からフォークキャンプに加わって、歌いながら、日本一周するそうです。作品も多数ありますので、彼の作った歌を歌って下さる方、グループがありましたらご連絡下さい。

## IV 合唱構成詩

### 明りを消した奴は……

この世の悪から身を守るために  
悪をよそおい  
あまたの教師たちからきらわれた  
ゲゲゲの鬼太郎というあだ名の劣等高校生の  
いとも優しい抒情のうた

前 貴 史 構成作詞

作々木 伸 尚 作曲

朗 読 高 木 伸

ピアノ 田 中 愛 子

1. 明りを消した奴は
2. のら犬のうた
3. 何も知らないほうがいい
4. 明りを消した奴は

## 花の高校生 前貴史君について

熊 谷 昭 吾

故郷をすてた男である。故郷を追放された男と言っても同じことだ。ブラックパージにかかったのだ。パージに理くつはない、要するに人相が郷党に容れないのである。かれの故郷は悪名高い富山県である。越中ふんどのあの越中、隣国加賀百万石をねたみ、いまだに劣等感から脱けきれない(前クンの前は加賀の殿様前田侯の田の字が落ちたものか)あの越中、米騒動では女どもに先を越されたあの越中、近ごろは文部省政策のお先棒をかついでいち早く高校多様化をやったあの越中である。15やそこいらで、かれはワラジをはいた。寺山修司クンにイカれた時期か前クンにはあるが、故郷追放者のかりそめの病いであつた。故郷を追われた者は、反面はげしい望郷の徒でもある。縞の合羽に三度笠、かかさ恋しと泣くカラスでもある。誌人の資質は、むろん、そういう自己矛盾によつて育まれたものにちかみないが、いくぶん狂い咲きの花という観なきにしもあらずだ。

### 「唱歌」ではないうたを……

高等学校のクラブでは、たとえば合唱部と詩人たちのグループとは不幸な分裂状態にある。合唱部員はいつぱんに育ちがよく品行方正で、詩人のデカダンな日常を軽蔑しているし、詩人たちは詩人たちで、あの型どおりの反俗精神のゆえに型どおりの組織不信の病にかゝつて合唱部などはスズメのさえずりくらいに考えている始末だ。こういう痛ましい才能の分裂状態は、保守頑迷な教師たちによつてむしろ温存されてきたように思われる。かくて、合唱部はほんとにスズメのコロスになり下り、十年一日のごとく星やすみれを美しく歌つてきたし、詩人たちは薄汚い万年床の中で臭い臭い屁をひるような詩作を、決して「うた」にならぬ不毛の詩作を性懲りもなくつづけてきたのだつた。

名古屋学院高校グリークラブが、デカダン詩人前貴史に、はじめて、単なる「自己」をでなく「自己」をとりまく「情況」をうたわせることによつて、一人のきわめて個人主義的な高校生を集団創造の場へ参加させたことをたたえる。この作品は、いくらか大袈裟といえ、高校のクラブ活動の創造実験のいとなみだと言える。

## V 仲間のうた

死んだ男の残したものは	谷川俊太郎	詞曲
さすらい	武満徹	曲
芹の匂いの思い出は	矢沢清弘	詞曲
明日を夢見て	高田純一	詞曲
たった一つのもの	鏡味敏幸	詞曲
朝日の中で誓う若者の歌	神野孝司	詞曲
春は来るのか	岩佐敏弘	詞曲
死んだ女の子	赤羽根竜	詞曲
	ヒクメット	詞曲
	外山雄三	曲

編曲 佐々木 伸 尚

独 唱	渡 辺 利 雄
	中 村 勝 利
ギ タ ー	赤羽根 竜 一
	加 藤 雅 己
	深 川 準 士
フルート	宗 像 正比呂 (器楽部)
ピアノカ	高 田 純 一
打 楽 器	小 倉 基 弘
コンバス	金 沢 勇 治

## おれたちの歌を……

佐々木 伸 尚

お前は歌うな  
お前は赤ままの花やとんぼの羽根を歌うな  
風のささやきや女の髪の毛の匂いを歌うな  
すべてのひよわなもの  
すべてのうそうそとしたもの  
すべての物憂げなものを掻き去れ  
すべての風情を擯斥せよ  
もっぱら正直のところを  
腹の足しになるところを  
胸先きを突き上げてくるぎりぎりのところを歌え  
たたかれることによって弾ねかえる歌を  
恥辱の底から勇気をくみ来る歌を  
それらの歌々を  
咽喉をふくらまして厳しい韻律に歌い上げよ  
それらの歌々を  
行く行く人々の胸廓にたたきこめ

この歌は、中野重治の「歌」という私の大好きな詩である。歌をつくろうとする人達に他に言うことはない。又歌おうとする人々にもこのことを言いたい。しかし残念ながら、今ほど、こうではない歌が氾濫している時はない、今ほど本当の歌が少ない時はない。

黒人たちにとって黒人霊歌がそうであったように、自らの生活の中から湧き出る歌を、胸の底から突き上げてくる歌を、創ろうではないか。それを聞くことによって仲間が慰められ、励まされるような、おれたちの歌をうたおうではないか。働く者たちが、明日への希望と勇気に、お互いに手を取り合って立ちあがるような、そんな歌声を日本の空に響きわたらせようではないか。

## ぷろふいーる

### ご協力いただいた方々

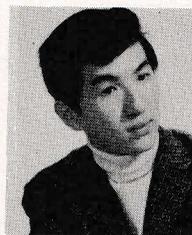
#### 田中愛子さん

目の美しい、すてきなお姉さま。 昨年の演奏会で「おかあさんのばか」を伴奏していただいてからの付き合い。 金城大グリーの名伴奏者だったとかで、佐々木先生のお気に入り。 でも、僕たちと付き合いのりは本意ではないだろう。 誰か、ステキな彼氏を紹介してあげて下さい。



#### 高木 伸さん

むかし、NHK・TVドラマ「高校生時代」で、かれは貴重な役者のひとりだった。 繊細で反逆的で、いささかデカダンな甘さを漂わせたかれの風貌がそのまま現状を鋭く告発するちからをそなえていたからだ。 名古屋青年劇団、TVタレント・センター、劇団未来座などを渡り歩いたが、いまは、はるかにワルだ。



(熊谷昭吾)

#### 若尾正也さんと総合舞台研究所の方々

劇団演集の主宰者のような、お忙しいえらい方が、僕たちの音楽会を手伝って下さるか、心配していましたが、快よくお引き受け下さり、感謝しています。

#### 熊谷昭吾先生

僕たちの日本史の先生です。 でも、それは世をしのぶ飯の姿とかで、本当は劇団名古屋に所属する劇作家だそうです。 構成詩を創るとき、随分助けていただきました。 ほんとうに有難く思っています。

#### 指揮者紹介

#### 佐々木伸尚さん

音楽というものをいつも疑っているので、たぶん彼の音楽は永つづきするだろう。 レンズ磨きでなければ哲学者になれぬ。 団地コーラスの奥さんたちに牛乳はなぜ値上がりするのかを説明することによって、団地コーラスを音楽にかえてゆく運動家である。 いや、まだそうでない、目下志向中だ。 かくて彼のなかで音楽が持続すると思う。



(熊谷昭吾)

**みゆき MEN'S SHOP**  
**NAGOYA SAKAE CHIKA GAI**

# —— クラブの1年 ——

- '69 2月28日 第四回リサイタル (於中区役所ホール)  
客は少なめ、空席多し。しかし演奏は上出来。ホント。
- 4月 7日 入学式サーヴィス
- 6月22日 県合唱祭 (於愛知文化講堂)  
一年生は初舞台で音は下るし、足はガクガク……………。
- 6月28日 菊里高合唱部と交流会
- 8月 8日 合宿 (於白鳥町石徹白)  
~12日 朝から夜までコーラスとトランプの猛練習。
- 10月10日 名高文化祭  
「グリーンがあんなにうまいなんて」と大好評……………信じられない。
- 10月19日 愛知県合唱コンクール (於南山高校)  
もし男声の部だけなら高校で第1位。ホントは3位。
- 11月30日 教会音楽発表会 (於中央教会)  
黒人霊歌を歌って、その声に神様もビックリ(?)。
- 12月21日 学校クリスマスサーヴィス  
22日
- 12月22日 メサイヤ演奏会 (於公会堂)  
金城学院グリーン及びオーケストラといっしょに。練習の時に横ばかり見ていて、目が片寄った奴がいた?!
- '70 2月 7日 フォークの集い (於淑徳高校)
- 3月13日 強化合宿 (於河和)  
~16日 メンはまずいし、練習はキビシイし、あゝやせちゃったァー。
- 4月 7日 入学式サーヴィス
- 6月13日 菊里高校合唱部と交流会
- 6月21日 県合唱祭 (於勤労会館)  
新入生はコチコチ、コーラスは下るし、ギターと合わないし、良かったのは、拍子木の音だけ……………あーあ。
- 6月28日 岐阜県合唱祭招待演奏 (於岐阜市民会館)  
こんどはバッチリ。でもやっぱりコチコチはとれない。意外に皆気が弱い。
- 7月22日 第5回定期演奏会 (於中電ホール)  
さてどうなることやら……………。

## 名古屋学院の方御優待



メガネの相談は

中区万松寺通り東入口  
(上前津交叉点北へ2筋西入る)

**小沢眼鏡店**

TEL 代(251) 8364

めんばあ

とつぷてなー せかんどてなー ぱりとん べーす

- |                                     |                                     |   |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 3年 渡辺 利雄<br>金沢 勇治<br>安田 日出夫         | 3年 岩佐 敏弘<br>小倉 基弘<br>吉田 有志          | 3年 河野 信一<br>高宮 仁成<br>安井 嗣仁<br>谷田 尚晶<br>赤羽根 竜一 | 3年 中村 勝利<br>渡辺 慶司<br>木越 伸行<br>柴田 昌治 |
| 2年 高田 純一<br>竹内 正幸<br>水野 千尋<br>長柄 克彦 | 2年 大野 章義<br>玉井 信之<br>山田 具成<br>加藤 雅巳 | 2年 大野 博史<br>水野 峰寿                             | 2年 西田 善行                            |
| 1年 木村 浩                             | 1年 若杉 一清<br>深川 順士<br>夏目 優司<br>吉田 和範 | 1年 鏡 味敏幸<br>水野 隆夫<br>伊藤 彰<br>柿崎 慎一            | 1年 山谷 直毅                            |

顧問 佐々木 伸尚 青井 貢一郎  
部長 渡辺 利雄 西田 善行  
副部長 小倉 基弘 加藤 雅己

Voxell

STEREO RECORD

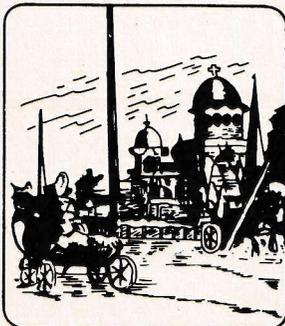
ナゴヤディスク

名古屋市中区錦3-11-29 カガミビル3F  
TEL 231-0267

ステレオレコードは  
12インチ 35枚より出来ます。

その他各サイズレコードも製作して  
います。

私共は現在考えられる最高の機  
器類を使用して録音して居ります。  
これは皆さんの演奏をいつも最高  
の状態にとらえる事を心掛けてい  
るためです。



「チャイコフスキー」を聞き  
「トルストイ」を語る友と共に

ロシア料理 ロゴフスキー

名古屋市中区鶴重町(ユタカビル)  
TEL (941) 4500